

ヴィンテージクロノグラフのリセット（帰零）等操作について

クロノグラフを趣向される愛好家の方々に置かれましては、クロノグラフ針リセットの際の指針位置を大変気にされることと存じます。60秒・30(45)分・12時間のいずれの針に付きましても、当店ではリセット位置に関する諸事象に関して、次のように規定しますので予めご深読の上ご購入の参考とされますようお願い申し上げます。

1. リセットプッシュボタンの操作：確実に一気に一押しで止まるところまで押し込んで瞬時に押し込みを放す。（なお、スタートプッシュボタンも同様な押し込み操作が必要です）
*プッシュボタン操作は電子接点式のスイッチではなく、物理的にハンマーを操作してクロノグラフ車のハートカムを打つ操作をしていることをイメージして下さい。中途半端な押し込みはトラブルの元となりますので心して押し込んで下さい。
2. リセットした際のクロノグラフ針の指針位置：ゼロ点（12時位置）にあるマーカークロノグラフ針の先端が一部でも掛かっている状況では計時に影響がありませんので無料保証調整対象となりません。
*本来の計時はハイビート機以外では秒単位までであり、0点にクロノグラフ針が掛かっている限り計時の結果に誤差を与えません。それ以上の微細な計時結果をヴィンテージ機械式クロノグラフに求める事は無理です。もし正確な計時を求めるのにクロノグラフを必要とされる方にはデジタル式表示の機種をお勧めします。
3. リセットの都度リセット位置が異なりズレる：調整の対象ですので遠慮なく修理にお持ち下さい。
4. クロノグラフ針作動時に一周する間に飛びやブレ等が出る個所がある：計時に影響のない範囲での細かなブレは調整対象になりません。大きく1~2秒飛ぶ場合や全周でブレる等の場合は調整いたします。
5. その他クロノグラフの操作に関して「経年によるヤレ」で基本動作に影響を与えない事象は、無料保証調整対象とならない事がございますので気になる事項は些細なことでも予めご質問ください。

*ヴィンテージクロノグラフはそのメカニカルな外観から非常に人気の高いアイテムとなっております。しかしながら、多くのモデルで製造からすでに50年が経過し、最も古い機種ですと今や100年を経過しております。機械を構成する緒パーツは全て「金属」で出来ており残念ながら「摩耗」がないパーツは一点といえども無く、中には摩耗の進んだパーツも間々見受けられますが、新品パーツの入手が容易でない機種では現状パーツを調整していかにもうまく作動させるかに心血を注がざるを得ない機種も多いのが実情です。何卒、それらヴィンテージ品の持つ脆弱性をご理解の上、その現行品では醸し出すことのできないテイストを慈しみ、お愉しみいただけたらと思います。なお、きっちり作動するヴィンテージクロノグラフをお持ちの方も沢山いらっしゃいますが、それはその個体の特長です。別の個体はその個体特有の現状となりますので比較対象にされないでください。くれぐれも、新品クロノグラフとヴィンテージクロノグラフの経年変化した個体は、別物である事をご斟酌の上ご購入の検討を頂きたく思います。もし、リセット位置を第一の購入基準とされる場合には、当店のヴィンテージクロノグラフはご検討から外して頂けたなら幸いです。